



人口	世帯	(10月1日現在)
190,210人		(前月比+30人)
世帯	59,251世帯	(前月比+65世帯)

市民スポーツの拠点に

野球場建設予定地で安全祈願式が

市民の保健・休養レクリエーション活動と公園緑地の拠点として期待される上府中公園予定地において、野球場建設の安全祈願式が、今日一日関係者を集めて行われました。

野球場は公園の中核施設として建設費十七億五千万円をかけ、昭和六十五年の市制施行五十周年記念事業として

の完成を目指します。

施設は、両翼九十五メートル、センター百二十メートルで、夜間照明付きの本格的な野球場です。収容人員も、メインスタンド三千人、芝生スタンド七千人となります。

広く市民に親しまれるスポーツ施設として完成が待たれています。



市民に親まれるスポーツ施設を目指して

体験学習で稲刈りを



慣れない作業も元氣よく

十月二十九日に栢山酒匂川付近の九アールの水田で、桜井小学校六年生約百七十人が稲刈りを行いました。

これは、今年六月に水稻栽培体験学習で自分たちが田植えをしたその仕上げとして、見事に実った稲を全員が手作業で刈り取りました。

慣れない手つきでかまを使ったり、掛け干し作業を行ったりして汗を流し、日ごろの農家の苦勞もちよつぱり体験しながら、収穫の喜びを味わっていました。

そして、最後に稲の脱穀作業やもみすり作業を見学し農業についての理解を深めました。

3大イベント

シンボルマークとキャラクターを募集

昭和65年度から66年度に開催を予定しています3大イベント、「市制施行50周年記念」「小田原合戦400年」「国際交流フェア」の統一名称とテーマが決まりました。

これをもとに、シンボルマークとキャラクターの募集をしますので、みなさん奮って応募ください。

統一名称
ときめき小田原まつり

テーマ
400年の時を超えて小田原は今、そして未来

◆審査 選考委員会により審査し賞を決定します。

◆応募内容 イベントの名称及びテーマをイメージ化したシンボルマークとキャラクター

◆問い合わせ 文化室文化係 ☎33-1703

草花の寄せ植えを指導します



緑化センターで、草花の寄せ植えを指導する会を開催します。植木鉢鉢又は木箱を用意してください。

◆日時 12月11日(日) 午前10時～正午

◆会場 久野の市緑化センター

◆定員 先着順50人

◆費用 材料(草花、土等)費の一部を負担

◆申込み及び問い合わせ 11月24日(木)と25日(金)に直接又は電話で市緑化センター(☎33-2814)に申し込んでください。

13件の文化財と3件の樹木が市の指定を

紹太寺の境内絵図など どれも貴重なものばかり



鉄牛和尚の血書

鉄牛和尚の画像

市教育委員会では文化財保護週中の十一月一日、十三件の文化財を市指定重要文化財に、三件の樹木を市指定史跡名勝天然記念物に指定しました。重要文化財の内容は絵画一件、古文書六件、歴史資料三件、建造物二件、有形民俗文化財一件です。今回の指定で市内の指定文化財は国指定六件、県指定十五件、市指定八十三件の合計百四十四件となりました。ここでは新指定の文化財と天然記念物をご紹介します。なお、個別紹介文の中で、①は所在地、②は所有者、③は指定理由を表します。これらについての詳しいことは、文化財保護課(☎1717)までお問い合わせください。

市指定重要文化財

絵画、建造物など多彩に では4件が

長興山紹太寺
指定文化財の中で、紹太寺(入生田三〇三)のものが四件あります。まずそれを紹介しましょう。

① 小田原城主だった稲葉正則は寛永十二年(一六三五)に父母の菩提寺を山角町(現在の南町)に建立し、寛文九年(二六六九)に入生田に移したものが長興山紹太寺です。始末は詳略不明で、昭和六十二年(一九八七)に、鉄牛和尚の血書(鉄牛和尚の血書)と、鉄牛和尚の画像(鉄牛和尚の画像)の二点、また、紹太寺に深い関係がある「稲葉家文書」(近世文書三二六)と「石井家文書」(近世文書一六六)の二点、近代文書一〇五三(点)の四件が指定されました。

① 配置や境界等について、後々の証となるように作られたもので、往時の姿を知る上で大変に貴重な歴史資料です。

② 長興山開発供養塔
紹太寺の建立に参加した人々を供養するために建てられたもので、土木工事に関係した石工、小田原藩主、僧侶等の人々の名が記されている歴史資料です。

③ 稲葉家文書(近世文書三二六)
古文书として次の六つの文書が指定されました。

④ 石井家文書(近世文書一六六)

⑤ 鉄牛和尚の画像
これは鉄牛の弟子の元明の作で、顔の各所に隈取(くまどり)を付け独特の立体感を出す黄檗(黄檗「おぼく」宗、江戸時代に日本に伝わった禅宗の一派)の描法による絵画です。

⑥ 鉄牛和尚の血書
鉄牛和尚が三十六歳のとき亡き母の十七回忌に当たり父母やけん族、一切衆生のために齋戒をして、十指を刺して血を取り大乘仏教と釈迦如来像を製作したと血書に記されています。この釈迦如来像は黄檗系の形に近いものですが、素人の描き方であることは否定できません。しかし、鉄牛が血で描いたという由緒の正しさによって歴史資料としての価値があります。

⑦ 岩瀬家文書(近世文書八五五)
点・近代文書四六六
① 城内七一一七 小田原市立図書館
② 本町一七一一三三 岩瀬直さん
③ 岩瀬家は、旧小田原藩の家老職を務めた家で、絵図、算書、主家系図等を保存し、史料としての価値は非常に高いものです。また同家には、旧小田原藩の家老職であった旧加藤家の文書もありました。小田原藩の正式な藩政史料は失われてしまっているため、注目すべき史料です。

⑧ 有浦家文書(近世文書八七八)
① 城内七一一七 小田原市立図書館
② 南町三三四一三四 有浦章さん
③ 有浦家は旧小田原藩の藩士で、藩政史料の他にたくさんの文書が保存され、旧小田原藩士の所蔵史料では最大のもので、これらの覚書は藩政を復元する上で重要な史料です。

⑨ 町方について
の古文书も
古文书として次の六つの文書が指定されました。

⑩ 稲葉家文書(近世文書三二六)
七二点・近代文書一〇五三(点)

⑪ 小西家は江戸時代に町年寄問屋役、町名主を務め、藩財政と密接に関係した家で、明治以降も小西正隆が足柄県公吏となり、第一回の県会議員として初代の神奈川県会副議長に選ばれていました。このようなことから、業種関係、金融関係、町政史料などが多数保存されていて町方史料として貴重な史料です。

⑫ 江戸時代の
建造物が2件
建造物で重要文化財に指定されたのは次の二つです。

⑬ 勝福寺の仁王門
① 飯泉二六一
② 飯泉二六一 勝福寺
③ 勝福寺は飯泉山と号して真言宗東寺派に属しています。一般には飯泉観音と呼ばれ、坂東三十三札所の一つでもあります。この仁王門は宝暦八年(一七五八)に造営

⑭ 小田原の道祖神(四基)
① 道祖神については、昭和五

⑮ 瑞雲寺のモッコク
瑞雲寺のモッコク

⑯ 市内有数の古木が
市内有数の古木が

⑰ 市指定史跡
名勝天然記念物
市指定史跡
名勝天然記念物

⑱ 船津常治さん
① 小船一三九 船津常治さん
② この門は入母屋造、茅ぶきの長屋門で文政十二年(一八二九)に建てられました。それ以降の改変が少なく、知ることが出来る文書と絵図も若干伝わっています。これらの文書は町方史料の少ない小田原にとっては貴重な存在です。

⑲ 小西家文書(近世文書二五五)
点・近代文書二二三
① 本町四一四四八 小西正通さん
② 本町四一四四八 小西正通さん
③ 小西家は江戸時代に町年寄問屋役、町名主を務め、藩財政と密接に関係した家で、明治以降も小西正隆が足柄県公吏となり、第一回の県会議員として初代の神奈川県会副議長に選ばれていました。このようなことから、業種関係、金融関係、町政史料などが多数保存されていて町方史料として貴重な史料です。



道行く人を見守って

⑳ 宝泉寺のギンモクセイ
宝泉寺のギンモクセイ

おしらせ

**労働講座と
講演会を開催**

労働問題をテーマにした労働講座と講演会を次のとおり開催します。お誘い合わせの上是非ご参加ください。

◎労働講座
第1日
○日時 11月24日(木)
○テーマ 労働時間の短縮と余暇(賃金と余暇への影響)
○講師 奥山明良さん(成城大学助教授)

第2日
○日時 11月29日(火)
○テーマ ビジネスマンの健康管理(働く人の病気の予防)
○講師 鈴木丈織さん(心理学医学博士)

第3日
○日時 12月1日(木)
○テーマ 明日に続く生活設計(人生80年時代を楽しく過ごすには)
○講師 倉山郁一さん(税理士・中小企業診断士)

会場 中央公民館3階視聴覚室
時間 午後6時15分～8時15分
受講料 無料
定員 60人(申込先着順)
申込み 市民生活課 市役所2階 電話(☎)139

◎労働講演会
日 12月10日(土) 午後2時～4時
会場 市役所7階大会議室
テーマ 女性の一人立ち
講師 今井登茂子さん(元TBSアナウンサー)
申込み 自由に受講できます。お気軽に会場に直接お出掛けください。
問い合わせ 市民生活課 ☎1396

**としよかん
にんぎょうげきじょう**

図書館で次のとおり人形劇場を開催します。是非ご参加ください。

日 11月27日(日) 午前10時30分～11時30分(開場は午前10時)
会場 図書館2階小劇場
プログラム
○人形劇 さるかにかっせん
○ぬいぐるみ人形劇 お山のむこうから
出演 東富水幼稚園母親人形劇団シニークリウム・同劇団OB
定員 100人(先着順)
入場料 無料
問い合わせ 図書館児童文化係 ☎1055

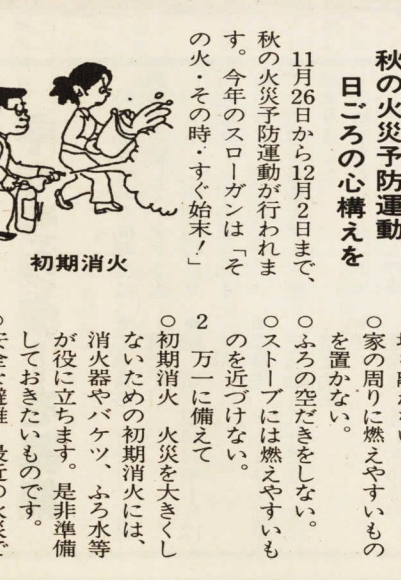
**秋の火災予防運動
日ごろの心構えを**

11月26日から12月2日まで、秋の火災予防運動が行われます。今年のスローガンは「その火・その時・すぐ始末!」です。

○ふろの空だきをしない。
○ストーブには燃えやすいものを近づけない。
○2万1に備えて

2 万1に備えて

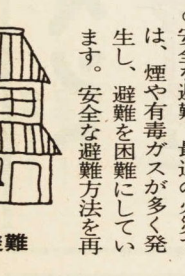
○初期消火 火災を大きくしないための初期消火には、消火器やバケツ、ふる水等が役に立ちます。是非準備しておきたいものです。
○安全な避難 最近の火災では、煙や有毒ガスが多く発生し、避難を困難にしています。安全な避難方法を再確認して、隣近所の協力を安全な避難



初期消火

これを機会に、家庭で次のようなポイントについて話し合ってください。

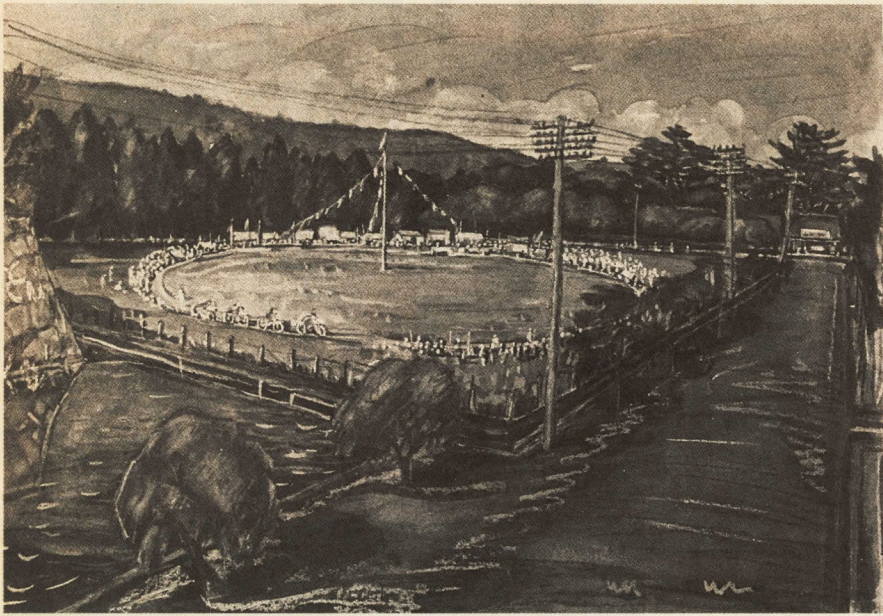
1 火の用心7つのポイント
○寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
○遊ばせぬ。



安全な避難

小田原スケッチ今むかし ⑧

絵と文・小暮 次郎



子どものころお嬢端(ほりばた)の野っ原とよく言ったものだが、一体何処(どこ)にあったのか今では知る人も少ない。

城内小学校の北側の崖(がけ)下から北に開けた、正方形の広い原っぱのことで、明治の末まではこもまだ一面の壕(ぼろ)続きだったという。今はその中に小田原教会があり、周囲は住宅と商店街に囲まれ昔の面影はない。

さて、この野っ原、ふだんは何の変哲もない空き地にすぎなかつた。当時の日本では全国的に自転車競技が流行し、明治三十年、東京上野の不忍の池では既にこの競技が

開催されていたので、小田原でもここが競走場として利用されたのであろう。

現在の競走場では入場料も有料、車券の発売もあるギャンブルに変わったが、昔はそんなものもなく、町の自転車商組合が主催し、業界の親睦を兼ねた年中行事の一つだったと思ふ。

当日は、早朝から花火が上がり、露店も出てお祭り気分である。午前中は色とりどりのユニホームを着た自転車屋さんが出場する短距離レースから始まる。優勝すると赤や青のメリンスの旗が贈られ、それを担いで場内を拍手に迎えられる一巡りする。

自転車競走に沸く観衆

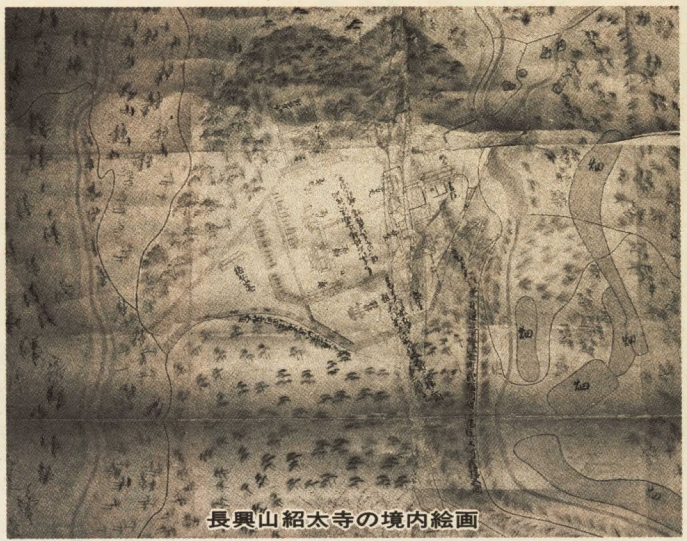
お祭り気分の年中行事

北方領土 明日の復帰へ今日の声



今は住宅や商店が

だが、この日の目玉となる最終レースは、豪華な優勝旗をかけ、四十周の長距離レースで幕を降ろすので、県外からの有名なプロ級選手が参集し、その白熱戦は大観衆を大いに沸かせたものである。



長興山紹太寺の境内絵画

◎長興山紹太寺の境内絵画
③稲葉正則が延宝七年(一六六九)に長興山開発のため化財に指定されたのは次のとおりです。

この人に関するもので次の二件が新たに重要文化財に指定されました。

- ①根府川五二四一
- ②根府川五二四一 広井隆尉さん
- ③広井家は古くから根府川に住んで根府川氏と称していましたが、小田原北條氏に仕えてこの地域を所領しました。天正十八年(一五九〇)の小田原戦役後は、採石棟梁として江戸幕府の御用を務めました。このようなどから、同家には採石関係文書を始め、根府川村差出帳等の村関係文書が多数保存され、これらは村の形成過程等を知る上で貴重なものです。

③稲葉家は旧府川村の旧家で、土地、年貢関係、助郷、経費出入り、凶災等が記された資料が多数保存されています。この点数は量的には小田原領内で最大のものがあり、村の形成過程を知る上でとても貴重なものです。

◎広井家文書(近世文書三三六点・近代文書一七〇点)
①根府川五二四一
②根府川五二四一 広井隆尉さん

③石井家は旧小田原藩の木挽棟梁を務めた家で、木挽職人関係史料を多数保存しています。また、小田原宿竹花町の町名主を務めた時期もあり、当時の町の様子を

◎船津家の長屋門
①小船一三九

また、それぞれの宅地を整理するときに全ての宅地が道路に面するように整備していきま。そして、町名地番をはっきりと整理して住みやすいまちをつくる。

◎船津家の長屋門
①小船一三九

また、それぞれの宅地を整理するときに全ての宅地が道路に面するように整備していきま。そして、町名地番をはっきりと整理して住みやすいまちをつくる。

◎船津家の長屋門
①小船一三九

各地で区画整理事業が

みなさんのご協力を得て

また、それぞれの宅地を整理するときに全ての宅地が道路に面するように整備していきま。そして、町名地番をはっきりと整理して住みやすいまちをつくる。

◎船津家の長屋門
①小船一三九



広済寺ののり



宝泉寺のキキモクセイ

おしらせ・おしらせ・おしらせ

犬による迷惑をなくそう
あなたは犬のフンをかたづけていますか?
飼主が責任をもってかたづけましょう。

市税等の納付は 口座振替で

市税等の納付金を口座振替にする大変に便利です。金融機関に預金通帳と印鑑を持参して、備付けの用紙に必要事項を記入して提出すれば手続は完了です。

◆問い合わせ 収納課 ☎1343

放射線技師を 市立病院で募集

市立病院では次のとおり職員を募集します。

- ◆募集職種 診療放射線技師
- ◆採用人員 1人
- ◆応募資格 短大の専門課程又は専門学校などを卒業した方で、国家試験に合格し、資格を有している方。昭和38年4月2日以降に生まれた方。市内の医療機関からの転職はご遠慮ください。
- ◆申込方法 土曜日の午後と日曜日を除く11月11日から11月21日の午前8時30分から午後5時まで申込みを受け付けます。申込書を本人が持参してください。申込用紙は市立病院の庶務課にあります。

イベントを 話し合う会に

文化室では、市制施行50周年記念、小田原合戦400年国際交流フェアの3大イベントを充実させるためにみなさんにお集まりいただき意見を交換する会を開きます。

- ◆日時 11月28日(月) 午後2時~4時
- ◆会場 市役所7階大会議室

文化室では手紙や電話での3大イベントについて提案意見等を受け付けています。資料をご希望の方は一報ください。折り返し郵送します。

◆問い合わせ 文化室 ☎1703

○天プラを掲げるときはその
○風の強いときはたき火をしない。
○遊ばせない。
○確認して、隣近所の協力体制を作りましょう。
◆問い合わせ 消防課 ☎1251

◆選考方法 12月7日(水)に第一次試験(学科・論文・性格検査)を市立病院で行います。第一次試験合格者は後日、面接と身体検査を行います。合否を決定します。

◆採用方法 合格者は一定の試用期間後、成績優秀な場合は正規職員として採用

◆申込先・問い合わせ 市立病院庶務課庶務係(小田原市久野46) ☎3175 内線604番

ちびっ子レポーターです



●レポーター
城内小学校六年 杉崎尚人くん、国分圭子さん
●説明者 三津木文化室長



川の大掃除にはみんなの協力が欠かせません

わたしの提案

みんなで川をきれいにしよう

●酒匂川の土手をきれいにしよう(連正寺 鈴木寿子さん 34歳)
私は、子どもを連れて酒匂川によく遊びに行きますが、年々川の土手がごみ袋や空き缶などで汚れていき、非常に残念に思っています。釣り人や行楽客などのマナーが悪いからだと思いますが、市でも年に一、二回地区のいろいろな団体に働き掛けて、大掃除をしたらいかがでしょうか。

●酒匂川の土手をきれいにしよう(連正寺 鈴木寿子さん 34歳)
きれいな川を守るには、みなさん一人ひとりが、ふだんから川を汚さないように心掛けることが大切です。そこで、市は河川管理者である県土木事務所と協議して川を訪れる人たちに川を汚さないように訴える立看板を設置し、みなさんの美化意識を高めていこうと考えています。ところで、「市から各団体に河川清掃を働き掛けたい」というご提案ですが、河川の美化運動はあくまでも地区のみなさんの真剣な気持ちの盛り上がりが必要であると思っております。

●酒匂川の土手をきれいにしよう(連正寺 鈴木寿子さん 34歳)
山王川・久野川沿岸地区では、地元自治会が中心になって「山王川久野川を美しくする会」を組織し、毎年六月に大掛かりな河川清掃を行っています。市も、この活動の趣旨に賛同し、全面的に協力を

昨年行われたお祭り「えいど小田原」を計画したり、文化のまちづくりの中心になっているのが文化室です。これからのお祭りの予定や、どのような文化の仕事を進めているのか伺ってみました。

●国分 文化室ではどのような仕事をしているのですか。
●室長 市の文化に関する仕事を計画して進めたり、市で行うお祭りの計画をしています。また、国内と海外の姉妹都市のおつきあいや、よいことをした人たちの表彰する仕事のほか、市の歴史を本にする仕事をしています。



熱心に話を聞く国分さん(左)と杉崎くん(右)

●国分 小田原の歴史の本を作っているということですが、室長 原始から現代までの小田原の歴史を調べて本にしています。今年から十一年かけて十六冊の本を作ります。一冊八百ページで、それを見れば小田原の歴史が何でも分かります。

おしらせ・おしらせ・おしらせ

●歴史研究会を開催
●後北条遺構など
●郷土文化館では、歴史研究会を次のとおり開催します。是非ご参加ください。

●年金の相談や納付の相談を
●納付の相談を
●年金相談と国民年金納付相談を行います。お気軽にお出掛けください。

●忘れずに納めよう
●国民年金保険料
●国民年金に加入しているみなさん、保険料を毎月きちんと納めていますか。

●浄化槽検査の詐欺に注意を
●浄化槽検査の詐欺に注意を
●浄化槽を利用している家庭には、法定検査を受けることが義務付けられていますが、

●西湘を考える
●県民のつどい
●西湘を考える
●県民のつどい
●西湘を考える
●県民のつどい